



こんげつの
とくしゅうは



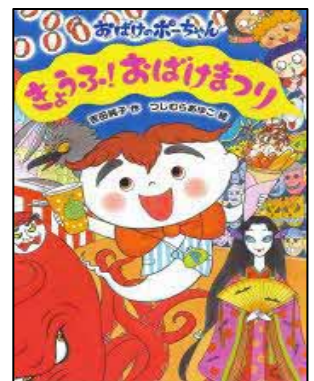
おまつい



おばけのポーちゃん きょうふ！おばけまつり

吉田 純子／作 つじむら あゆこ／絵
あかね書房 やさしい-ヨシ

おばけのポーちゃんは、じんじやのなつまつりを たのしみにして
いました。ところが、おまつりにいく じかんになったのに、おかあさんが
おしごとで いけなくなってしまいます。そこで、ポーちゃんは ひとり
でおまつりに でかけていきました。



小学校中学年から
中学生まで！

い 行ってみたい！日本の祭り

日本の祭りの会／編
岩崎書店 386

この本は、全国で行われる
伝統的なお祭りを、都道府県
別に詳しく紹介しています。
お祭りの様子や歴史、そして
お祭りに込められた人々の想
いまで、美しい写真とともに
学ぶことができます。



はなび き あの花火は消えない

森島 いずみ／作 丹地 陽子／絵
偕成社 F-モリ

小学5年生の原口透子は、日
用品店を営む祖父母と暮らすこ
とになりました。そこで、透子は、
「ぱんちゃん」と呼ばれる自閉症の
青年と出会います。彼は絵が得意
で、なぜか海の近くの坂道ばかり
を描いていました。透子は、そん
なぱんちゃんに興味を抱き始める
のでした。



まほうつかいとねこ

せな けいこ／作・絵

鈴木出版 えほん-セナ

まほうつかいの あつまりには、くろねこをつれていかななくてはなりません。ねこをかっていないまほうつかいは くろねこをぼしゅうします。なのに やってきたのは しろいねこ。ゆきのばん おいだすわけにもいかず、とめてあげることにしました。

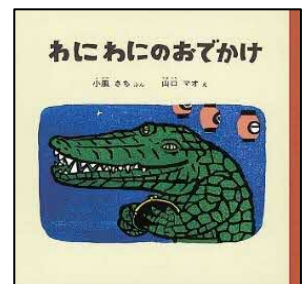


わにわにのおでかけ

小風 さち／ぶん 山口 マオ／え

福音館書店 えほん-キヨロ-ヤマ

ねむれない わにわにが ねどこをでて、とを あけると、みんながどこかにむかっています。わにわには どこかにむかうひとたちについていくことにしました。ついたところは、にぎやかな おまつりでした。



くすのきだんちの あきまつり

武鹿 悦子／作 末崎 茂樹／絵

ひかりのくに えほん-スエ

まんまんいけのあきまつりは、いけのかみさまに「いつもおみずをありがとう」と あいさつするところから はじまります。くすのきだんちのみんなも かけすのぼうやたちも あいさつをすませると あきのいちにちを たのしくすごしました。



ほしまつりがやってくる！

杉田 比呂美／作

アリス館 えほん-スキ

ほしまつりが かいさいされることになりました。いしょう、おんがく、かざりに、りょうり。みんなで じゅんびをします。おまつりのひがやってきました。ほんとうの ほしまつりは まっくらな なかではじまるのです。

